

# 健康と光線

## はじめに

光線を照射することは、病気の治療だけでなく、健康者に対しても、活力を高め、一層健康を増進する目的で用いられ、用途は多方面に亘っています。実際、健康者が光線照射によって保健上に受ける利益は決して少なくありません。以下、二、三の応用例を挙げてみました。

## 健康で長生きしたい

### 人に対する照射

此の程、サナモア光線療法の基本原理を平易に解説した、光線療法の話の改訂版を出版（A5版 41頁 定価五〇〇円 送料二二〇円）しましたが、その巻頭に宇都宮義真が「樹木でも、電灯の光に近い部分は冬になっても落葉せず、長命を保っている」有り様を写した写真を掲載しました。このように光線には「長生き」させる働きがあります。

さて、人間にとって、「健康で長生き」は古来からの夢です。

しかし、人類の寿命は様々な要件で制約されますので、自ずと限界があります。因に、平均寿命の移り変わりをみると、青銅

鉄器時代で15・9歳、中世ヨーロッパで17・5歳だそうですが、近代文明が、古代の三大死因とされている、飢饉、外敵、伝染病（感染症）を克服し、乳幼児の死亡率、妊娠出産に伴う死亡率を低下させた結果、平均寿命を急速に延ばし、現在の高齢化社会を迎えたのです。そして、今、平均寿命を限界寿命に近づける上で残された最後の敵が成人病です。

成人病には、素因に加えて、食習慣、肥満、ストレス、煙草、酒などが関係するとされてますが、最近になって、光線不足に伴うビタミンDの欠乏、その結果もたらされるカルシウムの不足が、ガン、動脈硬化、高血圧、糖尿病、感染症などの危険因子として大きく関わっていることが明らかにされています。要するに、限界寿命まで健康で生きるのは、適度の光線照射は欠かせないのです。

## 発行所

〒153 東京都目黒区目黒 4-6-18

## サナモア光線協会

年4回発行  
会費年500円  
電話 東京(03)  
3793-5281  
3712-5322

## 妊婦に対する照射

せないので。

## 健康者に対する 光線照射

### 健康増進の医術

サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

## 学童に対する照射

れ、胎児は健やかに發育し、分娩は平易に行われるのです。なお妊婦は、肉体的、精神的に変調を来し易く、このため、つわりや情緒不安定や子癇など様々な症状を起こしますが、光線を照射することによって、これらの病的障害は除かれ、妊婦の経過は至極順調になります。

發育期にある学校児童に光線を照射することは、健康を増進して勉学の意欲を高め、特に骨の發育成長を促進する上で極めて大切なことです。殊に、虚弱児童には著しい効果があります。

一般に都会の学童は、田舎の学童に比べて、自然の光線を浴びる機会が少ないため、身体の發育や健康を害することが多いので、一般体育や林間学校に加えて、光線を照射することは学校衛生上必要なこととです。

照射した結果についての報告は大同小異ですが、一般的に認められる所見として、食欲が亢進したこと、血色が良くなったこと、熟睡できるようになったこと、疲れなく元気になったこと、前より風邪にかかりにくくなったことなども挙げられております。また身長や体重の増加、血色素の増加、学業成績の向上などが述べられており、効果の大なることを窺い知ることが出来ます。

## スポーツマンに対する照射

近來、健康を保持する上でスポーツが果たしている効能が理解され、スポーツに汗を流す人が増えましたが、光線照射を併せて行えば、一層の効果を認めることが出来ます。実際、プロスポーツの選手の中にも、サナモアを選手生活に役立てている人がいます。

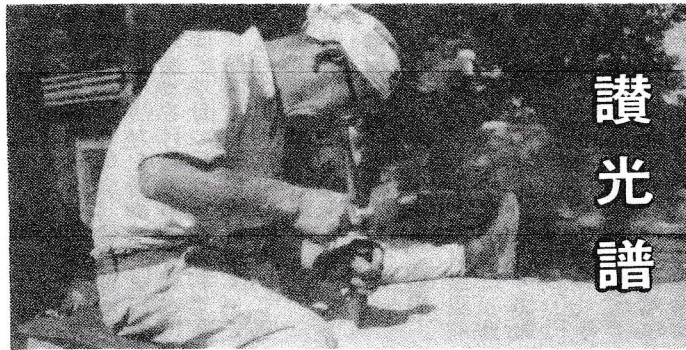
まず運動の際には、運動能力を高め、疲労感を和らげ、持久力を増すと共に、回復を早め、次に備える活力を養うのに相当の効果が得られます。なお全般的に生理機能が衰える冬の準備期に於いては、照射することによって諸機能が活発になりますから、身体に精力を与え、元氣をつける手段として有益です。スポーツに関連して特に強調したいことは、光線照射がスポーツにつきもののスポーツ外傷の治療に卓効のあることです。即ち、照射することによって、治療期間を短縮し治療を早める上で甚大な威力を発揮します。

石  
工

宇都宮義真撮影



## 讃光譜



### 病者のなげき

現代医学は進歩せり、発達せりと、毎日、新聞やラジオは報道している。現代医学に用のない健康者は、それをそのまま信じている。しかし、自分自身が運悪く病気になる、その信仰も忽ち崩れ、治るものなら迷信にでも走りたくなる。世の中に一人位、病気を治してくれる医者には居ないものかと思うようになる。

神経痛やリウマチの病人が、大病院をうらめしうに眺めて、ハリやキユウや温泉や神様を求めて右往左往している。しかし、彼らが何故、至れり尽くせりの設備を誇る病院に行かないで、他の治療に救いを求めるのか、愚かなことと笑うことは出来ない。彼らは病院の医療の経験者であり、かつ実証主義者なのである。

### 医は即ち薬

アメリカの視察団が日本に来て、「日本では医者が薬を売り、歯医者金銭を売り、薬屋が化粧品を売っている」と驚いたそうである。日本人の薬好きに便乗した日本の医者薬の飲ませ好

きもここに原因がありそうである。そこで、遅きながら、先進国を見習って、日本でも医薬分業作業に取り組むことになった。

そして、一口に医薬分業法案と呼ばれた諸法案が今国会を通過し、昭和30年から実施される。しかし、政府原案は医師会の反対で全く骨抜きにされ、「医師は患者に悪影響がある時と患者が希望する時は、処方箋を出さずに調剤してよい」ことに決まったのである。これでは今まで騒いだのが馬鹿くさい位で、医薬分業に似て非なるものと言わざるをえない。全く日暮れて道遠しの感がある。

「医は即ち薬」の現状から見れば、医師の生活権もあり当分は已むを得ないことかも知れない。医師が胃腸病に胃腸薬を、高血圧症に降圧剤を飲ませれば万事こと足れりと考えている間は無駄である。しかし、医師が薬物療法一点張りから抜け出て、生活環境を重視した医学に目覚めれば、医薬分業問題も自ずと解決されるであらう。

### 百年後の医学

一七九三年に当時のアメリカの首都フィラデルフィアで黄熱

病の大流行があり、五万人の人口の内五千人が死亡した。

当時の医学者たちは、病気が蔓延するのを防ぐために、毎日、市場に軍隊を繰り出して大砲を発射させ、また罹病した患者の治療には、糖蜜やニンニクを飲ませたり、強烈な下剤を与えたり、大量の瀉血(血を抜く治療

## 病者のなげき

宇都宮 義真

法のことで、当時は広く用いられていた)をしたのである。

そして、流石の黄熱病の流行も、冬が来ると共に下火になったが、これは医学者の処置が正しかったためと信じられ、あっぱれ名医とうたわれ、民衆から大いなる感謝をうけたが、黄熱病がエジプト蚊によって媒介さ

れる伝染病であることが明らかにされている今から考えると、随分おかしい話である。しかも、医学史を紐解くまでもなく、このような過ちは何時の時代にも見られるのである。

ところで、「病気の背後には違法がある。Back of every physical ailment, there is a broken law」と言われるが、患者の背後にある生活を含めて診断し治療する心眼を持たないと、応々にして病気の本体を取り逃がすことになる。病気の背後に自然に反する生活があるなら、自然に帰ることが最も合理的な治療法になるのである。この点から、光線療法の合理性を強調したい。

翻って、百年後の人々は、薬物療法(多くは対症療法)に偏した現代医学を果たしてどう評価するだろうか。

### 「健康と光線」

昭和25年8月25日発行

健康開話 一 百年後の医学

昭和26年4月15日発行

健康開話 一 違法

昭和26年6月25日発行

是々非々 一 医は即ち薬

昭和26年8月25日発行

是々非々 一 病者のなげき

より要約した。

(二) れまで、視点をかえて、ビタミンDとカルシウムは密接不可欠な関係にあることを記載してきたが、特に注意すべき点は、カルシウムの不足が強調されている割に、ビタミンDの欠乏が軽んじられていることである。換言すれば、前回述べたように、カルシウムの摂取量は食事の質の向上によりほぼ満足できる状態に近づいており、加えて、一般の関心が高まっていることからこれからは一層増えることと予測されるのに対し、ビタミンDは人々の暮らしが光線と疎遠になったため既に欠乏気味であり、これからの不足は加速すると推測されるにも拘らず、ビタミンDについては無関心な人の多いことである。

(エ) タミンDが欠乏すると、カルシウムの摂取量は十分でも、吸収も利用もされないためカルシウム不足を来すのである。このビタミンDは、屋外の光線を浴びれば簡単に生成されるが、食事で補うことは極めて難しいため、日常生活が屋内に限られている人では容易に欠乏する。然るに、多くの人は、カルシウム不足の原因をカルシウム摂取量の不足に求めても、ビタミンDの欠乏には気付かないのであ

(サ) て、ビタミンD欠乏症のクル病の大半の死因が感染症であったこと、反面、民間で光線を浴びると風邪を引かないと伝承されて来たことから察知し得るように、光線には免疫機能を強化、調節する作用があるが、この点にビタミンD並びにカルシウムが両々相俟って深く関わっていることが明らかにされた。

(ト) ところで、近年、花粉症のため、涙が止めどもなく出たり、鼻水に苦しめられたり、引っこり無しにくしゃみに悩まされる人が急増している。加えて、花粉症のみならず、所謂アレルギー性疾患に罹病する患者は例外なく増えており、今や日本人の三人に一人はアレルギー体質といわれるほどになった。しかし、アレルギーの原因(抗原として作用する・外因)とされているものは大昔からあったものであり、この点から、日本人の体質(抗原に対応する抗体を生成する免疫応答の調節機構・内

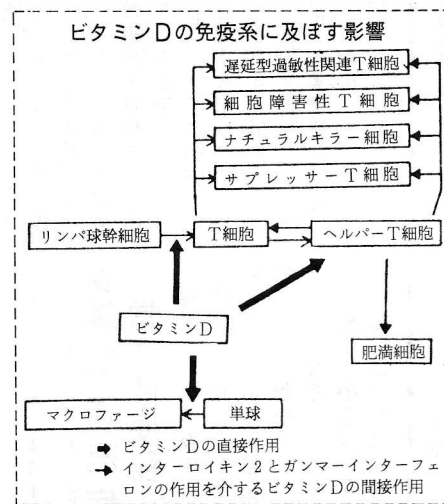
因)が変わったと考えざるを得ないのである。この体質の変化の一因に、光線の不足が関係している可能性がある。

(即) ち、現代人は生活の場から光線を失ったため、ビタミンD欠乏症を起こし、引いてはカルシウムの摂取量は必要量を満たしていてもカルシウム不足を起こし、これがアレルギー性

## 応用光線療法学 (39)

### □ ビタミンDの作用 □

その 36



医学博士 宇都宮 光明

に過ぎないのであり、これでは再発を免れることは出来ない。

(ニ) のようにアレルギーを起こす外因を避けるだけでこと足れりと思わず、どうして日本人の体質(内因)が変わったかを解明してこそ、現に苦しんでいる患者を救い、今後の患者の増加に歯止めをかけることが出来る

(ク) にビタミンDが免疫応答に及ぼす影響を示したが、ビタミンDは単球から異物を認知するマクロファージへの分化、異物に対する免疫応答を調節するリンパ球のT細胞への分化を

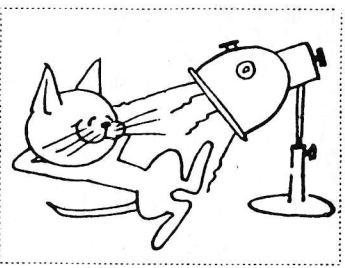
促し、また免疫を司るヘルパーT細胞に直接作用してインターロイキン2やガンマーインターフェロンを産生し、免疫応答を正しく調節する上で不可欠な作用を営んでいるのである。

一方、カルシウムの不足は、過剰な骨吸収を起こし、その結果、細胞内のカルシウム濃度を増し細胞の機能を阻害するが、免疫系では免疫を担当している細胞の機能を障害して免疫機能を低下させるのである。

(実) 際、アレルギー性疾患の治療で求められていることは、どうすればアレルギー体質を改善できるかである。例えば、花粉症が完治したと言えるのは、花粉が飛んでも安心していられるようにならない。

これでこそ求められる治療の姿と言えるのであって、ただ単に外因を避けて逃げ回るのはなく、あるいは対症療法で症状を軽くするだけでよしとするのではなしに、体質から治す必要がある。

これまで光線療法でいろいろなアレルギー性疾患の治療を行った経験から顕著な効果が裏付けられているので、光線療法をすれば必ずや期待した以上の効果を体験できる筈である。



## ☆むち打ち症

症例 41歳 男性 公務員

症状 信号待ちで停車中、小型トラックに追突された。衝突の直後は意識は正常で、特に症状はなかったが、翌日から徐々に頸の痛み、喉の痛み、頭痛、更に右手の痺れを感じるようになった。病院でレントゲン検査を受け、第五頸椎の異常を指摘され、頸椎の固定と牽引療法を受けたが、二週間しても自覚的に経過がはかばかしくないため紹介されて来所した。

来所時、頸の動く範囲はあらゆる方向に狭くなっており、前述の症状に加え、下痢と微熱を訴えていた。体躯はガッシリとしており、既往歴に特別のことなく、人間ドックの検査でも異常を認めたことはない。

療法経過 ABカーボンで、足裏20分、膝、腰、腹、背10分、集光器を使用して後頭部、喉、仙骨部各10分、BCカーボンで

## —治療例報告—

頸に後方から20分、左右から各5分照射。  
三回の治療で下痢が止まり、後頭部の重苦しい感じは軽減した。その後、自宅での自己治療にしたが、間欠的に出ていた微熱は一週間でおさまった。しかし、頸の痛みや頭痛は一進一退を続けていたが、一ヶ月後から急速に軽快した。現在、治療を始めて三ヶ月になるが、右手に微かな痺れが残っている以外は症状はなく、頸の動きも殆ど正常に戻っている。

神戸市 ウエノ光線療研  
上野 健太郎氏報告

TEL0七八一三三二一三三五八

## ☆椎間板ヘルニア (腰部)

症例 42歳 男性 教員

症状 腰掛けて三分もすると、腰から脚にかけて冷や汗がにじみ出る程の激痛があり、とても

## 「愛用者」だ二より

## ☆美しく老いたい

鹿児島 川添 ヒメ

サナモアを愛用致しまして早や8カ月が過ぎ去りましたが、私は今年83歳になります。

サナモアを根気よく続けたおかげで血圧が下がり、腰、膝の痛みが快方に向かい大変有

じつとしていられない。病院では腰椎椎間板ヘルニアと診断され手術を奨められたが、嫌だと言って来所した。

療法経過 ABカーボンを使い、腰の患部(一号集光器使用)には当初は二時間位照射したが、症状の激しさを裏付けるように少しも熱がらない。その後で、後頭部、背、腰、足裏、膝、腹に全開で各5-10分照射した。毎日治療して四、五日後には20-30分腰掛けられるようになった。この間、学校は休まずに我慢して通動したが、薄紙をはぐように良くなったので、一週間後から、経過観察を兼ねて時々治療に來所することを条件に、自宅治療にした。そして、治療を始めて三ヶ月過ぎる頃には殆ど全快したが、再発の可能性があるため自宅を治療を継続している。

春日市 育美健康光線療研  
前田 ミサ氏報告  
TEL0九二一五八一二〇三九

## ☆ニキビ

千葉県 鈴木泰智 香寿代  
私達兄妹は、おじいさんから

## ☆掌蹠膿疱症

### 常習性便秘

症例 55歳 女性

症状 10年ほど前から、両側の足の裏に黄色い膿をもった泡粒のような膿疱がべったりとできるようになる。その後、病院通いを続け治療を受けたが、思わしくないので医師に尋ねたら、

ら勧められ2カ月前からサナモア治療をしています。治療目的はニキビです。私より兄の方が随分目立っていました。最近とても良くなりました。私は女です。ニキビはもとより膚がスベスベしてきただけで嬉しく思っています。

おじいさんは私達が生まれる前から使っているそうで、とても81歳とおもえないほど若々しく元気です。

## サナモアカーボンの類似品にご注意下さい

サナモアA、B、C、Dカーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」のもとでも愛用者各位の御信頼を頂き、全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことは、皆様方よくご存知の通りであります。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセッとしたり、サナモアA、B、C、Dと効果が同じという根拠も無いような文句で互換表を添付して販売している業者がいます。もとより、このような道理にもとる行為をする者が何時の世にもいますが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任はもてませんので、ご注意下さい。

(サナモアカーボンには、製造元イビデン株式会社の商標「B」のマークが必ずついています。)

東京光線療法研究所

水虫と間違えやすい原因不明の厄介な病気と言われた。なお便秘に悩んでいた。

療法経過 始めにA、Bカーボンで、腹15分、喉(一号集光器使用)10分、腰10分照射してから、B、C又はA、Bカーボンで、足裏20分、膝と足首の内側、外側に各5分照射した。

毎日治療し、便秘は10日ほどで良くなったが、膿疱は良くなつては再発を繰り返す。うろこ状の皮膚がぼろぼろ落ちた。しかし、治療の回数を重ねる毎に徐々に、治療の回数を重ねる毎に徐々に、五カ月後には明らかに良くなったので、A、Bカーボンにして治療を続けるところ、七ヶ月後に発疹は消失し正常な皮膚になった。なお、その後も自宅で照射を続けているが、順調に経過している。

川崎市 東京光線療院  
海渡 一二三氏報告  
TEL0四四一七二二一五〇六七

# 太陽と親しもう

サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光 明

光明

夏には、ついこのあいだまで、誰もが喜々として日光浴を楽しんでいました。素肌一杯の太陽を浴びることによって、食べ物では不足がちなビタミンDを補うだけでなく、体内に十分なビタミンDを蓄えて冬に備えたものです。

しかし、既に五・六年になりますが、化粧品メーカーが紫外線防止化粧品を売らんがため、直に太陽光線を浴びるとシミになる”と、脅かしとしか思えないキャンペーンを大々的に始めてから、特に女性で健康を保つ上で生理的に必要な最小限の光線を浴びることさえ怖がる人がいます。でも、太陽の恩恵を忘れるなら、自分自身をないがしろにしているだけでなく、人類の未来に禍根を残すことになりかねません。

太陽があればこそ地球の生態系は存在するのであり、私たちにとって太陽光線は欠かせません。光線医学の先覚ヘスは、*“Light equals Vitamin D. —太陽光線こそビタミンDである。”*

と言ふ箴言を残しましたが、昔と比べて太陽と疎遠になった今こそ、この言葉の持つ重みを再認識することが求められています。然るに、医学界をも含めて、光線的作用について無関心に過ぎます。この点を最近の新聞報道から検証してみました。

大腸ガンの  
罹病率

日照の違いが原因？

我が国の大腸ガンの患者は猛烈な勢いで増え続けていますが、厚

病で、食事性線維が予防に有効とされていましたが、食事の違いでは罹病率の地域差を説明するところとは出来ません。

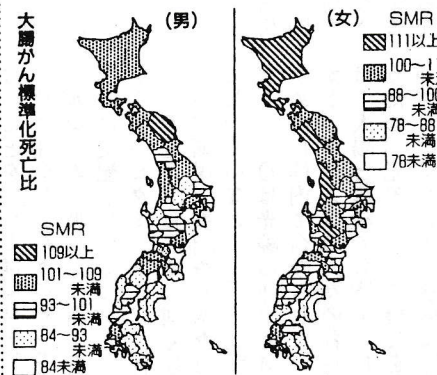
ところで、読者の中に、

生省は地域別（地理病理学的）に調べた罹病率を「健康マップ」として平成3年3月20日に発表、翌21日の新聞で一斉に報じられました。その「健康マップ」を転載しましたが、一瞥して分かるように、罹病率は東京、大阪などの都市部と、東北、北海道など北部で高く、沖縄、九

ところで、読者の中に  
今回、我が国で得られた結果と寸分の違いもない成績を、ガーランドが主にアメリカで行った研究で既に報告していることに気付かれた方がいると思います。ガーランドの研究の切っ掛けは、アメ

州、四国など南部で低いことが明らかにされました。従来、大腸ガンは、脂肪の摂取過多による文明……

リカに於ける大腸ガン、乳ガンの罹病率に地理病理学的に際立った特徴があり、北と都市部で高く、南と郊外で低いことに気が付いたことです。ガーランドは、アメリカ人の食事に関するあらゆる資料を詳細に検討して、



全国的に食事の内容が酷似していることを明らかにし、罹病率の違いを食事で説明できないことから、日照の差に着目し、日照の違いが大腸ガン、乳ガンの罹病率に関連していることを明らかにしました（光線療法学…318頁、健康と光線…昭和58年10月1日「光線浴にがん予防効果」、昭和63年7月1日、昭和63年10月1日「乳ガン・結腸ガンを防ぐ」参照）。

ここでガーランドの報告の要旨を簡略に述べますと、太陽光線を浴びる機会が少ないと必然的にビタミンD欠乏状態を起こすため、カルシウムを摂っても吸収されず、カルシウムが不足する結果、大腸ガンに罹病する危険性が増すことを、臨床的ならびに実験的に明らかにしたのです。換言すれば、ビタミンDとカルシウムに大腸ガンを予防する効果（ガン一次予防）のあることを立証したのです。

然るに、筆者が入手し得た新聞報道の範囲では、コメントしているガンの権威者や厚生省の担当官は、アメリカを始め世界で高い評価を受けているガーランドの研究に一言も触れていません。その理由は明らかではありません（無視したのか無知なのか）が、光線を軽んじる傾向を垣間見る思いがして残念であります。しかし、大腸ガンの危険因子について、我が国に於

いても、従来の食事中心の学説では説明できない研究テーマが課せられたのであり、この命題を解明するため、ガーランドの説の可否を含めて検討する義務があることは間違いありません。

皮膚ガンの原因

紫外線防止基礎化粧品が関係？

平成2年12月27日の朝日新聞は、資生堂が販売している紫外線防止基礎化粧品に含まれているウロカニン酸に皮膚ガンを促進する可能性があるとの研究が発表されたため、豪政府が販売中止を勧告したことを報道しました。このウロカニン酸は、身体に安全な紫外線吸収剤として日本でもサンオイルやファンデーションに広く使われています。

これに対して資生堂は、「現地の他のメーカーと歩調を合わせ販売を中止したが、今の段階では安全性に疑いはない。日本での回収はかえって消費者の不安を招く」と、販売を続ける方針を明らかにしています。しかし、既に本紙に記述した（健康と光線・昭和60年7月1日「サマーファンデーションでメイクアップにご注意、平成2年7月7日（6面へつづく）

(5面よりつづく)

1日「信じていいの? 紫外線性悪説!」(参照)のように、化粧品のような人工産物の最大の問題点は、太陽光線によってどのような化学反応を起こし、その結果、どのような弊害をもたらすのかが未だに解明されていない点にあります。言い換えれば、被害者が出るまで弊害は分からないのです。

例えば、シミにしても、戦後に患者が何十倍にも激増した最大の原因は、化粧品に入っていた油脂や香料にあったのです。思い出せば容易に分かることです。が、戦前は何も化粧をしなかったため、太陽の下で日光を浴びて働いた農婦にしても、シミにならずに済んだのです。この事実が医学的にも明白にされたため、今では何も入っていないのが安全な化粧品の代名詞になったのですが、このように被害が明らかにされるまでに多数の被害者を出してしまったのです。話を皮膚ガンに戻しますと、紫外線防止化粧品を含めて化粧品が皮膚ガンの誘因になる可能性は、以前から指摘されてきました。従って、今の段階で安全性は確認されていると断言することは不可能なはずで、それ故、改めて安全性が確認されるまでは販売を自粛すべきでしょう。

## 骨粗鬆症

こつそしょうしやう

一日牛乳一本で  
解決?

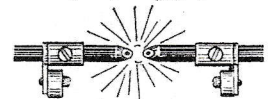
厚生省が平成3年4月29日付で発表した一九八九年度の国民栄養調査によれば、脂肪分と食塩の摂取量が依然として高く、加えて調査の対象となった栄養素の平均栄養所要量に対する充足率を見ると、カルシウムの摂取量は所要量の89%の540mgで、これだけが所要量を下回ることが明らかにされました。この点に関連して、厚生省では高齢者の骨がもろくなる骨粗鬆症患者の増加に係わっている可能性があると注意を喚起したと報じられていました。

しかし、わが国に於けるカルシウム摂取量の年次推移を見ると、戦前の粗食の時代、戦後の欠食の時代を経て、現在の飽食の時代を迎え、以前より明らかに高い値をとっていることは既に述べた通りです(健康と光線・平成2年10月1日「応用光線療法学・カルシウム摂取量の年次推移」参照)。すなわち、食生活が改善したにも拘らず、骨の粗鬆化(もろくなること)が進行しているのは、摂取したカルシウムが有効に利用されてい

ないことを忘れてはなりません。殊に注意して戴きたいことは、カルシウムの吸収(代謝)を全面的に支配しているビタミンDが、他のビタミン(A、B<sub>1</sub>、B<sub>2</sub>、C)と違って食品では補えないため、国民栄養調査の調査対象になっていないことです。即ち、ビタミンDは光線の作用で気付かぬ内に体内で合成されているが、今や大半の人々の暮らしは、太陽と無縁でも済んでしまいうため、光線を浴びる機会を失っていることです。これではカルシウムを如何に摂取しても吸収されませんから、当然、骨粗鬆症は治りません。

新聞報道のように、骨粗鬆症の原因が単にカルシウム摂取量の問題だけなら、一日に牛乳を一本追加(180ccの中に180mgのカルシウムを含む)して飲めば万事解決するはずですが、これで解決することは恐らくありません。実際に骨粗鬆症を防ぐ上で、カルシウムに負けず劣らず大切なのは「光線と運動」です。今回の調査では、始めて運動について歩行数で調査しています。が、肝腎な光線については何も調べていません。本来なら、調査対象に光線浴の有無、光線浴の時間を加えるべきです。こうすることで、国民は光線の働きを知り、健康増進に役立てることが出来るのです。

サナモア



Senamoa

サナモア光線協会

趣意書

天地創造の昔から、真の光、即ち太陽光線は、私たちに限りない恩恵を与えています。サナモア光線療法は、この太陽光線の健康増進、疾病予防および治療効果を利用した治療法です。従って、目に見える可視光線だけでなく、目には見えないが無くてはならない紫外線や赤外線を目的に的に応じて適切に放射しなければなりません。

このサナモア愛用者を以て、光線療法の研究を行うと共に、啓蒙普及活動を行うためサナモア光線協会を設立しました。サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同戴いた会員にて構成し、季刊紙「健康と光線」を発行します。

サナモア光線協会

医学博士 宇都宮 光明

協会では、会員を募集しております。入会希望者は、左記宛御申込み下さい。

〒153 東京都目黒区目黒4-6-18

サナモア光線協会 TEL(03) 三三九三-五二八一

三三二一-五三三二

(本紙の無断転用を禁止します。)